



園だより

# にじ

香川大学教育学部附属幼稚園  
NO. 20 2017年3月17日  
赤組・黄組修了おめでとう号

サクラのつぼみがここの一週間でぷっくりしてきています。マメの花芽、そして秋に植えていた花がそろそろ咲き始め、春の訪れを伝えてくれています。子どもたちの「大きくなってきたよ」と目に見えない言葉が体からあふれているように思います。昨年の4月を思い出してみましよう。・・・毎日、子どもは子どもなりに一人一人うれしいこと、不思議なことに心躍らせることも、また人やものごとに向き合っふんばったり、複雑な思いを感じたりしながら生活をしてきました。とてもエネルギーのいることだと思います。それでも周りのことを吸収して大きくなっていく。子どものすごさ、すばらしさを改めて感じます。

園生活を支えてくださった保護者のみなさま、本当にありがとうございました。

これからも、子ども（たち）が、子どもらしく生きていくこと、自分の思いや力を友だちを感じながら表現していけるように、大人の私たちがその生活を守っていききたいものです。

## 子どもたちの生活から

ごっこの世界 ～つながりはいろいろに～

イメージが重ねていくことは、友達を知ったり、思いを感じたりとする心の育ち  
子どもたちがいろいろなごっこの世界を楽しんでいます。その中から、一つ。



楽しそうな声がするなあと、黄組を訪れると、新聞紙を小さく裂きながら、「おんせ～ん」とUちゃん、Aちゃんがイヌ・ネコさん言葉も入れながら、泳いで遊んでいました。そこへ積み木をもって来て積み始めたAちゃん。楽しそうだぞと入って来るRくん、なんだか「おんせん」という楽しい空間に心動かしているようでした。私もちょっとお邪魔して、「いい気分・・・」と温まらせてもらいました。彼女たちは、泳ぐ間に「すいぞくかーん」と次の世界へ。3歳児さんのイメージは留まりません。



外では、力を入れて砂を掘っています。二つ穴が掘られていきます。一つずつ気合い入れて掘っている姿に、「深くしたいな」「～にしたいな」といろいろ考えている思いを感じました。背中を伸ばして顔をあげた時の誇らしさったら、すてきです。どうだ!すごいでしょと言わんばかり。本当にすごいと思います。力だけだけでなく、自分の思いへ集中(夢中)力に感心です。どっちが深いかな・・・と、見合っっこしている二人の姿が頼もしく思えました。一つずつだけれど、それぞれに名前をつけていることから、気持ちがつながっていることも感じられます。

入りたいな



友達を感じながら、自分の遊びにつないでいくこと、これからも体験して行ってほしい、そう思います。

## 畑のバトンタッチ 赤組から青組へのステップ

青組さんが野菜を育ててきた畑をいよいよ赤組さんにバトンタッチしていくことになりました。現一年生から昨年度受け取った畑を青組さんは、赤組さんに渡していく。活動を通して、子どもたちの心のつながり合いから、「大きくなるうれしさ」や「しっかりと伝えていける自信」「楽しさを感じ合ってきた温かい思い」などが、感じられます。

子どもたちが人から人へと伝えていくことのうれしさ、知識・情報を分かち合えるおもしろさなど、ペアさんでかかわり合ってきた仲だからこそ、生まれるように思います。

青組さんの卒園した今、様子を見に行ったり、水やりしたりする姿が見られます。畑にかかわりながら、「青組さん」ともかかわり合っていること、大事にしていきたいと思います。

さて、赤組さんは青組さんへの小さな一歩を踏み出しました。どんなふうに自分たちの青組をつくっていくのでしょうか。とても楽しみにしながら、子どもの育ちを感じていきたいと思います。



お家の方も、一緒にジャガイモの生長をお子様と楽しみにしていけるといいですね。土の中で起き始めているジャガイモが新学期、どうなっているでしょうね。

最後に、子どもたちへメッセージ

～出会えたことに感謝して～

星とたんぼ

金子  
みずぶ

青いお空のそこふかく  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんでる、  
昼のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

ちっつすがれたたんぼの、  
かわらのさきに。だまあって、  
春のくるまでかくれてる、  
つよいその根はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

【わたしと小鳥とすずと 金子みすゞ童謡集】

JULA 出版

見えないもの、見えないこともちゃんとある。  
信じて見つめようとする心が、子どもへの思いに  
重なる、いつもそう思います。  
\*倉野\*

